

行政評価シート(事後評価)

コード (21) 4-2-2	事務事業名 商店街補助事業(一般、街なかサロン)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-----------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	【一般(商店会等地域活性化補助金)】商店街活性化推進事業に要する経費の一部を補助することにより、商店街の発展と地域経済の活性化を図ることを目的とする。 【街なかサロン】来街者が気軽に休息でき、商業者と生活者が自由に話し合ったり情報交換ができる場所(サロン)を提供することによって、商店街等の活性化を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 一般(商店会等地域活性化補助金) / 商店街共同施設に係る工事費、催事費での他市長が特に必要と認められた経費。 催事経費3分の2上限300万円(都の助成がある場合上限600万円)、イルミネーション3分の2上限200万円 【街なかサロン】商店街がサロンを整備することについて、市がその整備に係る経費(開設費・運営費2年間)の一部を西東京商工会を通じて補助する。(事業開始時期:16年度)商工会は、経営改善普及事業として、「金融指導」「税務記帳相談指導」「各種講習会の開催」「経営相談指導」「青年部相談指導」「女性部相談指導」等を行い、地域総合振興事業としては、「総合振興対策」「商業振興対策」「工業振興対策」「建設関連業振興対策」「福利厚生対策」「青年対策」「女性対策」「大規模対策」等を実施する団体である。	
事業開始時期	一般13)【サロン16年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

事業費データ	項目		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)				31,455	31,583	30,329
財源	国庫支出金・都支出金		千円	4,533	4,713	6,962	6,143
	地方債						
	その他( )						
内訳	一般財源		26,922	26,870	23,367	31,761	
所要人員(B)		人	0.1	0.1	0.1	0.3	
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	833	819	816	2,448	
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	32,288	32,402	31,145	40,352	
単位当たりコスト							
(E)=(D) / ( 支援数 + 補助申請数 )		千円	1,009	982	944	#DIV/0!	

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	(サロン)支援数	実績値	サロン箇所	1	2	2	
(一般)補助件数	実績値	補助件数	31	31	31		
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
評価指標の設定	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一(サロン)利用者数	実績値	人数	1,333	1,760	6,528	
次(一般)商店会数	実績値	商店会数	34	34	32		
二商店街の年間商品販売額	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など)							
(1次成果・サロン)来街者が気軽に休息でき、商業者と生活者が自由に話し合ったり情報交換ができる場所として、サロンがどの程度利用されたかを1次成果とする。(2次成果)当支援策によって、商店街等への活性化が図られた最終的な成果を2次成果とする。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	(一般)特になし。 (サロン)サロンを設置により、商店街を訪れる消費者数が増えた。毎日訪れる消費者もいる。また、テレビや新聞で取り上げられたことによって、商店会の知名度も向上している。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 (一般)各市ほぼ同じ水準と思われる。 (サロン)商店街振興の施策として、サロンの設置について支援を行っている事例はあまりないと思われる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (サロン)同上 (一般)なし。

コード (21) 4-2-2	事務事業名 商店街補助事業(一般、街なかサロン)	所管部課 生活環境部産業振興課(旧市民生活部産業振興課)
-------------------	-----------------------------	---------------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(一般) 都補助の利用をより活用していく。 (街なかサロン) サロンの設置により、商店街を訪れる消費者数が増え、テレビや新聞で取り上げられたことによって、商店会の知名度も向上しており成果が上がっている。しかし、サロンの運営にかかる補助期間は2年間で、月額費用の2/3、サロン1箇所につき上限月額3万円(家賃月額45,000円を想定)であり、開設から2年間を経過したのち、継続していくことのできる体力のある商店街・サロンはあまりないことが課題である。補助金の交付期間内に運営費を賄う方法等を商店会が考え、補助金交付期間終了後も、サロンを継続できるようにするのが課題である。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	【一般(商店会等地域活性化補助金)】 都補助金を活用しての商店会のイベント事業を財政支援しているところであるが、補助金投下による集客効果を計る手法を研究されたい。 【街なかサロン】 当初から一団体に対して2年間という短期の補助制度としていることから、被補助団体が2年間補助を受けた後の計画がないと、補助金終了とともにサロン運営は立ち行かなくなる。補助金交付決定の判断時点から、2年後のサロン運営について確かな計画を策定していくことが必要である。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	一般補助金については、補助金の効果を測る方を検討し、より効果的な事業となるよう努められたい。 街なかサロンについては、成果指標にあるように利用者数が増加傾向にあり、一定の成果がみられる。今後は、自主的なサロン運営の継続性を担保する仕組みの構築に向けて努力されたい。